

## 管内文化財の紹介～その2～



### 長野県史跡 ごてんばいせき 御殿場遺跡 (伊那市富県貝沼) とみがたかいぬま

御殿場遺跡は昭和41年(1966年)、この地域一帯の開田事業に伴って緊急発掘調査が行われました。発掘により検出された遺構は住居跡23戸(縄文勝坂期5戸、加曽利E期11戸、平安期3戸、時代不明のもの4戸)ですが、これは遺跡の一部に過ぎず、東側の山麓にわたる広大な地域に及んでいます。住居跡には縄文中期の住居が復元されています。この遺跡から発掘された土器のうち、「顔面付釣手形土器」は希少なもので、平成元年6月には国の重要文化財に指定され、伊那市考古資料館(伊那市西箕輪)に展示されています。